



# 生態系の保全

おやま

## みたとうぶ保全会（栃木県小山市）

○当組織は関東平野中北部に位置する栃木県南部にある小山市にあり、ほぼ平坦な水田地帯となっている。

当組織は17の集落からなる一つの土地改良区で構成され、土地改良区に事務委託するなど、土地改良区と緊密に連携している。

子どもを含め多くの地域住民の協力の下、生態系保全活動に尽力しており、特にビオトープや水田魚道の設置といった保全施設の設置や維持管理に積極的に取り組んでいる。

### 【地区の概要】

- ・取組面積：703.0ha  
(田621.7ha、畑81.3ha)
- ・資源量：開水路 191.4km  
農道 110.8km
- ・構成員：自治会、子供会  
土地改良区等
- ・交付金：約30.9百万円  
農地維持支払  
資源向上支払(共同活動)

### 活動開始前の状況や課題

○本地域の末端農業用排水路は土水路が多く水草が豊富で生き物たちの生育場所となっている。

○一方で、少子高齢化と農業離れの進行により水路の維持管理にも苦慮していたことから、コンクリート水路への改修要望が多く、それに伴う生き物の減少が懸念されていた。

### 取組内容



環境保全型水路



直営施工によるビオトープづくり



魚道の設置風景

○水田魚道、ビオトープや環境配慮型水路の設置など地域の生態系保全活動に積極的に取り組んでいる。

### 活動の効果



生き物調査の風景



鮎の放流

○環境学習を通じて地域に一体感が生まれると共に、地域の農業や自然環境を支える人材の育成につながっている。

○環境に配慮した施設を積極的に設置し、地域の生態系保全に貢献している。

○地域にあった環境に配慮した施設を直営施工により設置することで、地域住民による保全活動の持続性が確保されている。